

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2000-78558(P2000-78558A)
 【公開日】平成12年3月14日(2000.3.14)
 【出願番号】特願平10-245948
 【国際特許分類】

H O 4 N 7/173 (2006.01)

H O 4 N 7/26 (2006.01)

【F I】

H O 4 N 7/173

H O 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 映像を発信する機能を備えた映像サーバと、前記映像サーバが撮影した映像を配送する配送サーバ、及び前記配送された映像を受信する情報処理端末とによって構成される映像情報配信システムであって、

前記映像サーバから配送サーバまでの間の第1ネットワーク上で画像データを送付する際に用いられる第1画像フォーマットと、

前記配送サーバから情報処理端末までの間の第2ネットワーク上で画像データを送付する際に用いられる第2画像フォーマットとで、

異なった圧縮方式を用いた画像データを配信することを特徴とする映像情報配信システム。

【請求項2】 前記映像サーバが発信する映像はカメラにより撮影された動画像に基づくことを特徴とする請求項1に記載の映像情報配信システム。

【請求項3】 前記第1ネットワークの伝送帯域幅は前記第2ネットワークの伝送帯域幅に比べて狭いことを特徴とする請求項1に記載の映像情報配信システム。

【請求項4】 前記第1画像フォーマットは前記第2画像フォーマットに比べて画像の圧縮率が高いことを特徴とする請求項1に記載の映像情報配信システム。

【請求項5】 前記第1ネットワーク上で用いられる通信プロトコルの信頼性は前記第2ネットワーク上で用いられる通信プロトコルの信頼性に比べて高いことを特徴とする請求項1または3に記載の映像情報配信システム。

【請求項6】 前記第1画像フォーマットは、フレームの画像データの情報を利用するフレーム間符号化と、フレーム内符号化との組み合わせを利用したフォーマットを用い、

前記第2画像フォーマットはフレーム内符号化のみを利用するフォーマットを用いることを特徴とする請求項1または4に記載の映像情報配信システム。

【請求項7】 映像を発信する機能を備えた映像サーバと前記映像サーバが撮影した映像を配送する配送サーバ、及び前記配送サーバと前記配送された映像を受信する情報処理端末との間で画像情報を送受する映像情報配信方法であって、

前記映像サーバと配送サーバとを接続する第1ネットワーク上で第1画像フォーマットの画像データを送付する第1画像フォーマット工程と、

前記配送サーバと情報処理端末とを接続する第2ネットワーク上で第2画像フォーマット

トの画像データを送付する第2画像フォーマット工程とを備え、

前記第1画像フォーマットと前記第2画像フォーマットとで、異なった圧縮方式を用いた画像データを配信することを特徴とする映像情報配信方法。

【請求項8】 前記映像サーバが発信する映像はカメラにより撮影された動画像に基づくことを特徴とする請求項7に記載の映像情報配信方法。

【請求項9】 前記第1ネットワークの伝送帯域幅は第2ネットワークの伝送帯域幅に比べて狭いことを特徴とする請求項7に記載の映像情報配信方法。

【請求項10】 前記第1画像フォーマット工程における前記第1画像フォーマットは前記第2画像フォーマット工程における前記第2画像フォーマットに比べて画像の圧縮率が高いことを特徴とする請求項7に記載の映像情報配信方法。

【請求項11】 前記第1ネットワーク上で用いられる通信プロトコルの信頼性は前記第2ネットワーク上で用いられる通信プロトコルの信頼性に比べて高いことを特徴とする請求項7または9に記載の映像情報配信方法。

【請求項12】 前記第1画像フォーマット工程では、フレームの画像データの情報を利用するフレーム間符号化と、フレーム内符号化とを組み合わせる利用した圧縮方法を用い、

前記第2画像フォーマット工程ではフレーム内符号化のみを利用する圧縮方法を用いることを特徴とする請求項7または10に記載の映像情報配信方法。

【請求項13】 前記配信サーバは、前記映像サーバから送られてきた画像データを伸長し、前記情報処理端末に対して送出可能な画像転送レートを算出する手段を有し、前記画像転送レートが予め定められた回線容量を超えている場合は前記伸長された画像データを間引いた圧縮処理をして前記情報処理端末にデータを送出することを特徴とする請求項1に記載の映像情報配信システム。

【請求項14】 前記配信サーバは、前記映像サーバから送られてきた画像データを伸長し、前記情報処理端末に対して送出可能な画像転送レートを算出する工程を有し、前記画像転送レートが予め定められた回線容量を超えている場合は前記伸長された画像データを間引いた圧縮処理をして前記情報処理端末にデータを送出することを特徴とする請求項7に記載の映像情報配信方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明は上述した課題に鑑みてなされたものであり、上述した課題を解決するため本発明にかかる映像配信システム及び方法等は以下のような構成を主として備える。

即ち、映像を発信する機能を備えた映像サーバと、前記映像サーバが撮影した映像を配送する配送サーバ、及び前記配送された映像を受信する情報処理端末とによって構成される映像情報配信システムは、

前記映像サーバから配送サーバまでの間の第1ネットワーク上で画像データを送付する際に用いられる第1画像フォーマットと、

前記配送サーバから情報処理端末までの間の第2ネットワーク上で画像データを送付する際に用いられる第2画像フォーマットとで、

異なった圧縮方式を用いた画像データを配信することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、映像を発信する機能を備えた映像サーバと前記映像サーバが撮影した映像を配送する配送サーバ、及び前記配送サーバと前記配送された映像を受信する情報処理端末との間で画像情報を送受する映像情報配信方法は、

前記映像サーバと配送サーバとを接続する第1ネットワーク上で第1画像フォーマットの画像データを送付する第1画像フォーマット工程と、

前記配送サーバと情報処理端末とを接続する第2ネットワーク上で第2画像フォーマットの画像データを送付する第2画像フォーマット工程とを備え、

前記第1画像フォーマットと前記第2画像フォーマットとで、異なった圧縮方式を用いた画像データを配信することを特徴とする。